

# わたしたちの「3つの輪」～各学校区の実践紹介～

桜原小学校「コミュニティ・スクールさくらばる」の取組について紹介します。

## 桜原小学校

桜原小学校CSでは、『家庭で「芽」を出し、学校で「花」が咲き、地域で「実」を結ぶ』を合い言葉に、4つの実働部会による取組が進められています。

「学習支援部会」では、子ども達の学力向上を目指し、学期末の学習のまとめをする時期にチャレンジ週間を企画し、計算プリントの丸付けをする「赤ペン先生」を募集して子ども達の学習を支援しています。また、夏休みには各区の公民館で宿題についてのアドバイスなどを行う「サマースクール」という活動もしています。

「ゆたかな心部会」では、子ども達の豊かな心を育てることを目指して読書活動を推進しています。本の読み聞かせが中心の活動です。本年度は、「家読（うちどく）」という活動にも力を入れています。これは学級で本をリレーして、各家庭で親子で読書に親しんでもらうものです。



「環境整美部会」は、子ども達に働く喜びを味わわせることや、学校の教育環境を整えることを目指して、子ども達と一緒に校内の清掃活動（クリーンアップ桜原）を行うなどの活動をしています。

「安心・安全部会」は、交通事故や不審者から子ども達を守る安全の確保や、気持ちのよい挨拶を広げることを目指して、登下校の付き添いや見守り、そしてあいさつ運動などを展開しています。

これらの部会が活動を企画・運営することで、学校・家庭・地域が活動に参加でき、協働して、健やかな子どもの育成をめざして取り組むことができます。その活動を企画したり振り返って改善したりする場が、学校運営協議会になります。各部会ごとに、「めざす子ども像」を設定し、その姿に迫ることができたか、毎回熟議を繰り返して、CSの取組の充実を目指しています。



## 編集後記

あけましておめでとうございます。昨年も各小中学校において、新たな取組やより充実した活動が実施されるなど、有意義な学校運営協議会、CS活動が展開されています。また、各中学校でのCSフォーラムでは小中連携が進み、「学校・家庭・地域で子どもを育てる」といった意識がより高まったと感じます。本年も、3者がそれぞれの役割と責任を果たしながら、コミュニティ・スクールを推進していけたらと思います。

宇美町教育委員会学校教育課  
宇美町宇美5丁目1番1号  
電話 934-2245  
FAX 933-9211  
E-mail: gakkou@town.umi.lg.jp

コミュニティ・スクール（=CS=地域と共にある学校づくり）通信@UMI

# 3つの輪

平成28年 1月  
第11号  
宇美町教育委員会

## 全国CSニュース

### 平成27年度 ふみの里学びの森フェスタ



【各校のCSの報告をする指導主事】

11月15日（日）ふみの里学びの森フェスタにおいて、宇美町教育委員会学校教育課藤井龍一指導主事が、本年度の各小中学校での取り組みや全国的に進められているコミュニティ・スクールの成果の報告と本町が進めるコミュニティ・スクールの理念についての説明を行いました。

宇美町が考えるコミュニティ・スクールの理念については、次の3つがあります。1つ目は、学校と保護者、地域の3者が一体となって地域の子どもの育ちを育てていくことにより、子どもの確かな育ち、豊かな育ちを支え地域づくりの担い手を育てていくことにつながることで、そこに関わる

大人たちの成長を促し、学校力だけでなく、家庭力、地域力を高めること。3つ目は、この活動がゆくゆくは、地域の絆が強まり、地域づくりの活性化や発展につながることで、

## 進化するCSの取り組み！

昨年12月に、コミュニティ・スクールの研修会が行われました。講師に、福岡教育大学教授で、文部科学省のコミュニティ・スクール推進委員でもある森保之先生を迎え、各校での取組の紹介や本年度の運営上での成果や課題についての熟議を行いました。

森教授からは、「これからの子ども達に必要な『生きる力』は、多様な人々との関わりや様々な経験を重ねていくことで育まれていくものであり、地域社会とのつながりの中で、子ども達が豊かにたくましく成長できるようにしていくことが大切であること。」をお話いただきました。



【CSの重要性について講話する森教授】



【本年度の取組の紹介】



【各校の取組についての熟議】



【熟議の報告】



## わたしたちの「3つの輪」 ～各学区の実践紹介～

宇美中学校の『元気な挨拶日本一の学校』と宇美東中学校『校区をきれいにし隊』を紹介します。



### 宇美町小中学校のCSの取組

今回は宇美東中学校CSフォーラムの取組を紹介します。



#### 宇美中学校区CSフォーラム

#### 熟議のテーマは！ 『地域とともにある学校づくり』

10月3日(土)11時30分より宇美東中学校で、中学校区(宇美東中学校・宇美東小学校・桜原小学校)によるCSフォーラムが開催されました。

小学校の職員と中学校の職員、代表児童生徒、保護者の方、地域の方の五者で、テーマについての熟議を行いました。熟議の中では、校区の清掃活動をより充実させるために、「宇美町からポイ捨てがなくなるよう、この活動をもっと多くの人に知ってもらいたい。」という中学生の意見や「小中学生が、がんばっているのだから地域からも、もっと参加するよう、伝えておくよ。」など、地域の方からのお話が聞かれました。



【150名の方が参加しました！】

【活発な交流ができました！】

【さまざまな考えに触れました！】



#### 参加した方の感想



##### 生徒の感想

大人の人たちと話し合いをするのは難しいと思っていました。しかし、清掃活動をもっと活発にするいろいろな方法を分かりやすくお話ししていただきました。

##### 保護者の感想

保護者の参加をもっと増やしていくことが大切だと思いました。地域の方や生徒さんの考えが聞けてとてもよい交流会で、地域の絆が深まったように感じました。

##### 地域の方の感想

とてもよかったと思います。このような場を設けていただいたことに感謝します。子ども達を地域で育てることは、未来の地域力に関わることです。またやりたいですね。



これまでになかった取り組みとなり、大きく一歩前進したCSになりました！

### 宇美中学校

#### テーマ 元気な挨拶日本一の学校

宇美中学校では、元気な挨拶日本一の学校を目指して2つの取組をしています。1つ目は、「朝の挨拶運動」の取組です。部活動生徒が7時50分からお手本となり元気な挨拶をしています。2つ目は、「挨拶標語コンクール」の取組です。生徒会が主催し、全校生徒で標語を作成し、優秀賞を校内に掲示しています。自分たちが考えた標語が掲示され、お互いの作品を鑑賞することで、改めて挨拶の大切さについて考えを深めました。



部活動生徒、生徒会役員による朝の挨拶運動！  
「おはようございます！」という元気な挨拶で登校してきた友だちを迎えています。元気に1日過ごすための合い言葉です。

標語コンクールの最優秀賞の作品！  
全校生徒が毎朝必ず通る階段の前に掲示されています。  
「あいさつは 笑顔をつなぐ 神言葉」など



### 宇美東中学校

#### テーマ小・中学校合同で『校区をきれいにし隊』実施

学校と地域が一体となって、地域子ども達を育てていくツールとして位置づけています。「宇美町を愛する」心を醸成し、将来における地域づくりの担い手を育てていくこと、そして、JRC(青少年赤十字活動)の実践として奉仕活動に取り組み、「気づき」「考え」「実行する」態度目標に近づけるように昨年度から実施しています。



小学生は、地域の方々と交流したり、中学生に指導してもらったりすることによって、長幼の序を学び、年上の方を敬い謙虚な態度を身につけることができました。また、中学生は、年下の小学生に対して、思いやりをもった態度で接する姿が見られました。

清掃する中で、地域の方から褒められたり、認められたりしたことで、意欲的に活動する子ども達の姿が見られました。また、アンケートの結果では、これからも地域のために活動したいという意見もありました。

